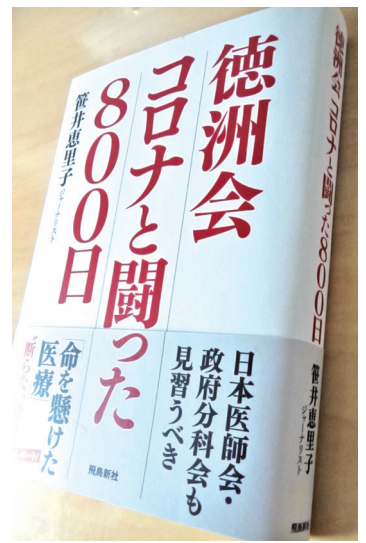


society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

『断らない救急、の現場』 『徳洲会 コロナと闘った800日』

「コロナが発生する前から23区在住の救急患者の搬送は多かったですが、コロナでもぐっと増えました。断らない救急を目指し



菅井恵里子著『徳洲会 コロナと闘った800日』(飛鳥新社)

ていますが、東京では実践が難しい。昭島市にある東京西徳洲会病院を率いる渡部和巨院長の話だ。2020年からつづく感染症に立ち向かった医師たちの闘いを描いた『徳洲会 コロナと闘った800日』に紹介されている。著者の菅井恵里子さんはサンデー毎日編集部記者を経て、18年に独立。主に医療や健康をテーマに執筆してきた。この本も急患対応に定評のある徳洲会病院の取材からスタートしたという。徳洲会といえば、やはり徳田虎雄氏。幼い日に弟が医者になつてもらえず亡くなった無念さを糧に医師の道に進み、弱冠35歳で大阪に徳田病院をオープン。掲げた理念が「命だけは平等だ」。その実践が患者に対する献身的な医療だ。菅井さんは「そしてコロナが発生してから2年間、徳田虎雄か

た。この本も急患対応に定評のある徳洲会病院の取材からスタートしたという。

コロナ禍の記録として貴重な一冊



東京西徳洲会病院の取り組みは、全国に71ある徳洲会グループの医療機関における一例にすぎない

ら直接指令を受けて院長に就任した医師たちの活躍が華々しい」と指摘。渡部院長も「へい、いつでもすべての治療ができる病院にしたい」と奮闘していた。現場指揮官は感染対策室長で外科部長の飯島広和医師。20年9月

にプレハブの発熱外来棟を院外に設け、手指消毒の徹底とマスクやフェイスシールドの着用で感染リスクと対峙していく。それでも院内クラスターが発生、多くのスタッフが出勤停止になり、飯島医師自身も感染してしまう。渡部院長の指示で即入院、治療となったのだが、彼は「ベッド脇にパソコンを持ち込んで、受け持ち患者のカルテ整理などの仕事をしていく」という。菅井さんは「それでも院内クラスターが発生、多くのスタッフが出勤停止になり、飯島医師自身も感染してしまう。渡部院長の指示で即入院、治療となったのだが、彼は「ベッド脇にパソコンを持ち込んで、受け持ち患者のカルテ整理などの仕事をしていく」という。

出直しは中嶋丸で

あきる野市長選 村木氏破る

あきる野市長選が9月4日投開票され、前市長で無所属新人の中嶋博幸氏(55)が(73)を破り初当選した。投票率は41・69%で前回を0・09%下回ったが、40%台には到達した。村木氏は4677票だった。当日有権者数は6万6642人。特別養護老人ホーム整備を巡る対応に問題があったとして、議会から2度の不信任決議を受けた村木市政の継続が刷新かが争点とされたが、事実上は厚い組織力に支えられた中嶋氏の信任投票だった。18600票は十分な信認を得たと評価でき、市政の安定を掲げる中嶋丸は順風満帆の船出になった。市長選を振り返る検証記事を9月17日配信号で掲載します。

民話と炉ばたの二人三脚

民話の宿として知られる荒澤屋。囲炉裏を前に、ひろじいこと荒澤弘氏が語る奥多摩の昔ばなしは、コロナ下でも依然として健在。一人息子で4代目を継ぎ、旅館と併設された炉ばた・あかべこを切り盛りする貴氏との二人三脚は、はた目にも頼もしい。

「物心のついたころ、親父はもう語り部をしていた。でも息子にしてみれば、男親の話を目と向かい、奥多摩の昔ばなしは家業にロマンという要素を加える。

荒澤屋 荒澤貴氏



年3月に炉ばたのある居酒屋が開店。「その際に、親父から私に代替わりもしている。ありがたいことに私の思うようにさせてくれた。親父の舞台は昔ばなし、私の舞台はあかべこというところで、高級感のある奥多摩にないような店をめざして試行錯誤を繰り返している」

で修業した。そこで食を提供する醍醐味を知り「40歳までに店を持ちたい」と考えていた。

この言葉こそ貴氏が30代半ばで実家に戻る伏線だったといっている。日本酒と食事を楽しめる店の出店候補地はいくつかあったものの、やはり奥多摩に落ち着いた。旅館の厨房を改修して、2013

「私は旅館を継ぐという前提ではなく、高校を出ると1年間、調理の専門学校で学んだ。とりあえず調理師免許を取得し、修了後は吉祥寺で数店舗を展開する有名料亭

先代の仕事と教え

黒茶屋
あきる野市小中野167
☎042-596-0129
令和4年9月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制・土日祝は当日可)(17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休、9月6・7・8日

喰心庵
あきる野市小川633 ☎042-559-8080
令和4年9月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制)(17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休、9月20・21・22日

井中居
青梅市藤橋2-32 ☎0428-30-1661
令和4年9月の営業
<月曜日を除く全日>
ご昼食(11時~15時受付)
ご夕食(前日迄のご予約制)(17時~19時受付・21時閉店)
<月曜日>
ご昼食のみの営業(11時~15時受付)
定休日:毎週火曜日、および水曜日は不定休、9月13・14・15日